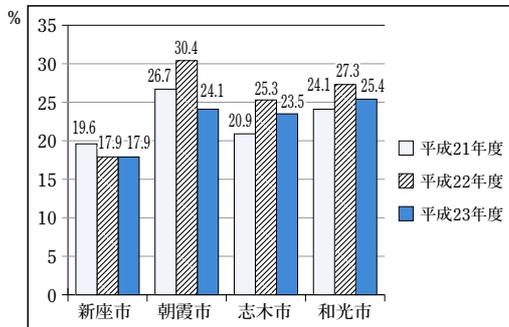


(図1) 朝霞地区4市における乳がん検診受診者



乳がん検診は、1987年に第2次老人保健事業により導入されました。当時は30歳以上の女性を対象とした視触診でしたが、研究により明らかな死亡率の減少は証明されませんでした。2000年には、第5次老人保健事業により、50歳以上の女性を対象にマンモグラフィ検診が2年に1回、一方撮影で開始となりました。その後、2004年には、40歳代の女性を対象に2年に1回、二方向撮影が追加になり現在に至っています。

近年における全国の乳がん検診の実施状況はごつてしょうが、厚生労働省の平成23年度(2011年)地域保健・健康増進事業報告によると、平成23年度に全国で市区町村が実施した乳がん検診の受診者は25万30008人、受診率は18.3%であり、この数年大きな変化はなく低い受診率です。平成22年度の受診者25万1993人のうち、要精密検査者は21万7865人(8.57%)、発見されたがんの人は8104

人(0.3%)でした。

それでは、朝霞地区4市(新座・朝霞・志木・和光市)ではどうでしょうか。朝霞地区4市が行っている乳がん検診受診者数、受診率はこの3年間ほぼ横ばい(図1)、各年度の4市の受診率の平均は22.7~25.2%であり、全国平均よりは若干高くなっています。また、平成22年度の要精密検査率は5.61~8.58%、発見された乳がんの人は37人(0.28%)でした。

がん対策基本法に基づいて2007年に出されたがん対策推進基本計画では、検診の受診率を50%まで引き上げることを目標としています。この目標は、全国及び朝霞地区4市の平均受診率から見るとかけ離れているように思いますが、これは市区町村が行う前述の対策型検診(視触診及びマンモグラフィ検診)のほか、職場で行う検診、人間ドックなどの任意型検診も全て含めた受診率です。この全ての検診受診者数を正確に把握することがとても重要ですが、実際には極めて困難です。

3年ごとに行われる国民生活基礎調査によると、過去2年間の乳がん検診の受診率は31.4%であり、実際の受診率により近いのではないかと考えられています。しかし、対策型検診のみならず全ての乳がん検診受診者数、受診率を正確に把握する方法を確立することが重要です。と考へます。

乳がん検診の最終目標は乳がん死亡率の減少です。このためには、有効な方法で、より多くの女性に、精度の高い検診を進めていかなければなりません。

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会により、他臓器がん検診にはない精度管理システムが作られ、検診従事者(医師・技師)、乳房撮影装置などの精度管理が行われていますが、更にこれを進め、全ての乳がん検診に厳密な精度管理を行っていかねばなりません。

国立がんセンターがん対策情報センターのデータによると、乳がんの罹患率は45~50歳、死亡率は55~60歳がピークです。つまり、日本では40歳代の閉経前乳がんを見付けることが重要であるといえます。しかし、40歳代は乳腺の密度が高く(デンスブレスト)、マンモグラフィ検診の精度が低いことが指摘されており、この弱点を補う超音波検査の併用が期待されています。

2006年から「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験(J-START)」が開始され、この結果は乳がん検診の方法を大きく変える可能性がありその結果が待たれるところです。

最後に、乳がんの啓蒙活動としてピンクリボン運動は広く知られており、検診や早期発見の重要性は広く理解されているようですが、検診に行くという実行動と結びつかないところが問題のように思います。朝霞地区4市は乳がん検診受診率50%を目指していますので、どうぞ皆さんの力を貸してください。これから乳がん検診を受ける方は、ぜひ、お友達をもう1人誘って受診してください。そうすれば、受診率50%も夢ではないと考えます。

わたしたちの健康

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時~午後4時

月日	場所	施設名	科目	☎(048)	場所	施設名	科目	☎(048)	
8	4	新座	新座むさし野クリニック	内・アレ・循内	489-5323	新座	梅沢皮フ科クリニック	皮	042-472-5118
	11	志木	はんだ内科クリニック	内・消内・循内・小	486-2327	朝霞	北あさか城北クリニック	整外・消内・肛・外・リハ	474-9066
	18	朝霞	あおば台診療所	脳外・内・小	474-5270	新座	くりはら内科クリニック	内・消内・循内	042-438-6606
	25	新座	志木駅前眼科	眼	423-0702	朝霞	ふじい整形外科	整外・リハ	450-1188



※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。